

学校関係者評価報告書まとめ

I. 学校運営

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	4

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

学校関係者評価を開始したことが評価に値する。
目標、年間行事目標の周知が行っていた。

年度目標及び評価が適切に行われており、また、課題の整理もできているため、引き続き新たな目標設定に繋げていただきたい。

※全体に関することです。何を持って評価項目が達成されたか判断するのかが資料からは読み切れませんでした。達成度が90%以上のことについては「5…適切」とさせていただきます。年度目標の実現に向けて組織的な取り組みが見られます。

コロナ禍で教育環境を維持することが難しい状況にありながら、目標を明確にし、教育環境を維持できたことは評価できる。

II. 教育課程・教育活動

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	4

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

新カリキュラム改正に対し、全教員で教育課程の検討が行えている。

学生への倫理的配慮に対し、他施設との情報共有や学習会の検討もよいかと思う。

コロナ禍でいろいろ苦慮されていると思われるが、それに対する努力がうかがえる。

コロナ禍の中で、新たな教育課程の見直しを検討、改正することは苦労があったと考える。また、できなかったことは、今後の課題として生かしていただきたい。

総括から新カリキュラムの編成や日々の教育活動に対して努力していることが伺えます。評価項目における教育活動の実施の有無から内容・質を高めることへの工夫を期待します。

コロナ禍にありながら、できる範囲での実習環境が維持できていたと考える。今後更に状況が悪化する事も考えられオンラインの体制作り等も必須と考える。

項目Ⅲ. 入学・卒業対策

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D	点数/満点
5	5	5	5	20 / 20

各評価者コメント

学内での応募者確保の内容が報告書からは不明であった。 国家試験対策は十分に努力されており、達成度100%は評価できる。 市内への就職活動も強化されている。
学生個人の能力差はあると思いますが、貴重な人材の育成に、引き続き国家試験合格率100%を目指していただきたい。また、その方法について、調査研究を続けていただきたい。
達成率100%という結果は素晴らしいと思います。職員が評価項目に対して努力しているという結果と理解します。
入学後、3年間学生生活が継続できるよう、入学時の関わりが重要と思われ、現在の支援体制を維持してもらいたい。

項目Ⅳ. 学生生活支援

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D	点数/満点
4	5	4	4	17 / 20

各評価者コメント

コロナ禍で十分な感染対策を実施し成果を上げている。学生の大切な時期にサークル活動等が全く行えないことに不安はあるが、状況をみながら徐々に改善できることを期待する。
退学、休学者等はいないとのことで、学校全体の努力がうかがえる。引き続きの支援をお願いしたい。サークル活動は学生にとって、学年別を超えた人と人との交流の機会となるので、引き続きできることの検討をされたい。
コロナ禍にあり、サークル活動などの支援は困難であったと思います。実現性の問題は別として、学生の意見を聞く機会の設定はこのような状況下であっても必要と考えます。
今後もコロナの影響は続くと考えられ、身体的側面に限らず、精神面でのフォローも必要と考える。

項目V. 管理運営・財政

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
5	4	5	5

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

防災に対する意識の高さがうかがえた。防犯・交通安全講習会が開催できなかったとのことだが、現在重要な感染予防に対する指導は十分なされていると思われる。

狭い学校内での活動となるため、引き続きハラスメントが起きないように尽力された。

コロナ禍で感染防止が最優先事項であるため、出来なかった取組みがあってもやむを得ない状況と考えます。実施できなかったことに対して、その取組みの目的を果たすための工夫を期待します。

予想できない大災害が頻発している状況より、緊急連絡網の整備・訓練を実施したことは評価できる。

項目VI. 施設設備

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
5	5	5	5

点数/満点
20 / 20

各評価者コメント

設備面は十分と思われる。

引き続き施設管理等に尽力されたい。

学生の学習環境として整備していくことに努力していることが伺えます。ハード面は改善が難しい項目ですが、図書室や視聴覚室の活用しやすいよう工夫が見られます。

現在の医療現場の課題である「患者が自宅へ戻る」という目標から考えても、在宅実習のできる教室も整備され、学習環境は整っていると思われる。サークル活動が行われることで、広報活動にも繋がると考えられ、期待している。

